

令和3年度における

都道府県建設業協会の災害及び防疫対応

一般社団法人 全国建設業協会

近年、台風や頻発化・局地化する豪雨などにより、全国各地で甚大な自然災害が発生しています。令和3年度においても、7～8月は大雨の影響により、熱海市伊豆山土石流災害をはじめ、各地に大きな被害がもたらされました。

また、鳥インフルエンザや豚熱など家畜伝染病も昨年度に引き続き、全国で発生しました。

これら自然災害や家畜伝染病などに対し、「地域の守り手」として対応にあたった都道府県建設業協会及び会員企業の取組をご紹介します。

静岡県熱海市伊豆山で発生した土石流災害

6月末から梅雨前線が北上し、7月1日から3日にかけて西日本から東日本に停滞しました。前線に向かって暖かく湿った空気が次々と流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨となりました。この数日間にわたって断続的に雨が降り続き、静岡県の複数の地点で72時間降水量観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となりました。



がれき撤去による復旧活動（静岡県建設業協会（三島建設業協会））

この大雨により令和3年7月3日静岡県熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生した。延長1キロ、最大幅約120メートルにわたって被害をもたらしました。

静岡県建設業協会の三島建設業協会は、防災協定を締結している静岡県からの要請に対し、国道135号線のがれき撤去作業を24時間体制で進めたほか、国土交通省沼津河川国道事務所の要請により照明車の現場搬送等の支援活動を行いました。

また、静岡県建設業協会の沼津建設業協会も国土交通省沼津河川国道事務所の要請で現地への排水ポンプ車の搬送等の支援活動を行いました。

令和3年8月の大雨による災害

8月11日以降、日本付近に停滞している前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となりました。この影響により、西日本から東日本の広い範囲で大雨となり、11日からの総降水量が、多いところで1400ミリを超える記録的な大雨となり、多くの被害が発生しました。



令和3年8月豪雨 佐賀県内での道路応急復旧作業
(佐賀県建設業協会)



令和3年8月豪雨 南部町の大谷川流路部の土砂崩落による
撤去作業(鳥取県建設業協会)



令和3年8月豪雨 浜坂町内の流出土砂および
倒木撤去作業(兵庫県建設業協会)



令和3年8月大雨 犀川での堤防復旧夜間作業
(長野県建設業協会)

被災地の各建設業協会と会員企業は、災害への迅速かつ確かな対応を目的に国や地方公共団体等と締結している災害協定に基づき、河川決壊箇所の復旧や土砂・がれき撤去による道路啓開および水路啓開を実施しました。



豚熱の埋却溝掘削作業(群馬県建設業協会)

鳥インフルエンザ及び豚熱における防疫支援活動

各地で発生している鳥インフルエンザ及び豚熱における防疫活動として、各建設業協会の会員企業は、迅速かつ円滑な防疫対応確保のために都道府県と締結している防疫協定に基づき、殺処分された鳥や豚の埋却溝の掘削や埋却作業などを、昼夜を問わず実施しました。



鳥インフルエンザの埋却作業(岩手県建設業協会)